

報道機関各位

長岡市農林水産部鳥獣被害対策課長



鳥獣被害対策は、「じぶんごと」 集落の現状を知ること、地域ぐるみでの取り組みの促進につなげる 川口地域で集落環境診断を開催

近年、クマやイノシシなどの野生鳥獣が人の生活圏に頻繁に出没するようになり、農作物被害だけでなく人身被害も増加しています。被害防止には、地域住民一人ひとりが「じぶんごと」として現状を把握し、地域に応じた対策を考え、集落単位で協力して取り組むことが重要です。

このたび、イノシシによる農作物被害が増加している川口地域において、「集落環境診断」を実施します。鳥獣被害対策の専門家によるアドバイスのもと、フィールドワークも交えた現状の課題の洗い出しと対策案の検討を行うことで、地域ぐるみの取り組みを支援し、その促進を図るものです。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださるよう、お願いします。

鳥獣被害対策集落環境診断

- 日時** 6月18日(木) 午前10時～午後4時
- 会場** 武道窪会館（長岡市川口武道窪 156-5）
- 講師** 株式会社ういるこ 代表取締役 山本 麻希 氏
- 内容**
 - 勉強会（1時間）
鳥獣被害対策の基礎的な知識を学びます。
 - 打ち合わせ（1時間）
被害状況など集落の現状について情報共有します。
 - 現地調査（2時間）
打ち合わせ内容をもとに住民と行政担当者、専門家が一緒に現地を回り、どのような被害があるかなど、集落の現状を把握します。
 - ワークショップ（1時間）
現地調査の結果をもとに地域の課題を整理・共有し、市の補助金などを活用した具体的な対策について話し合います。
- その他** 当日は青森県から「鳥獣被害対策専門員（ガバメントハンター）」3人が参加予定です。



▲集落環境診断の様子
(R7.12月和島地域にて実施)

問い合わせ：鳥獣被害対策課 酒井
TEL：0258-39-2348